

# 第27回 東京上野ロータリークラブ 奏楽堂コンサート

第1部 モーツァルト:《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》《アヴェ・ヴェルム・コルプス》《フルートとハーブのための協奏曲》

## 第2部

ミュージカル

# 岬のクファイ

原作・脚本 成田 英明 ✿ 作曲 松下 功

コンサート形式

### あらすじ <赤い大蛇に追われた鹿>

太平洋上に浮かぶある島での出来事。島には北の部族と南の部族がお互いを知らずに住んでいました。ある時、南の部族は新天地を求めて船出することになり、南の若者ダンが島を離れる前に仲間と島の探検にでかけます。そして若者たちは岬の上から聞こえてくる不思議な歌を耳にします。初めてのはずなのに、心の奥のどこかでは知っているような歌でした。その歌の主クファイとダンは一目で恋に落ちますが、クファイには既に父親によって定められた婚約者がいました。そのような事情のもとでもめ事が起こり、クファイは岬から転落して行方不明になります。村人の必死の捜索にもかかわらずクファイは見つかりません。

ダンは岬に一人残ってクファイを探します。数年経ち岬は二人の思い出の白い花でいっぱいになりますがクファイは依然見つかりません。村人が少しずつダンのクファイに対する愛情を理解しかけてきたとき、クファイの婚約者カムラはダンを縛り首にするよう主張し、部族間の対立は一挙に高まります。

あわや一触即発、両部族が対峙しあうときに、クファイの歌が聞こえてきます。南の部族はその歌が自分たちの古い歌であったことによりやく気づきます。クファイの歌や旗印の類似性から双方はお互いが祖先を共にする同胞だったと理解するに至ります。クファイはそのことを後世に伝える役割を負っていたのです。

クファイは戻ってきたものの記憶を喪失していました。両親をさえ覚えていないクファイの記憶には部族の歌と、ダンとの出会いだけが残っていたのです。双方の部族はダンとクファイの出会いを機に自分たちの未来を二人に託すことにしました。クファイの歌にある「赤い大蛇に追われた鹿」は根源的故郷を追われた現在の人類自身を象徴しているとも言えましょう。

岩下 晶子 ✿ 平中 麻貴 ✿ 渡邊 智美 ✿ 大田 翔 ✿ 田中 俊太郎 ✿ 河野 陽介

指揮 矢崎 彦太郎 ✿ 東京藝術大学教員・卒業生・学生有志オーケストラ (Tp. 杉木 肇夫 名誉教授 Vn. 澤 和樹 教授 ほか)

2013年 3月22日(金) 17:00 開演 (16:30 開場)

会場 台東区立旧東京音楽学校奏楽堂

台東区上野公園8-43 Tel. 03-3824-1988

※ 整理券を発行しますので、3月15日までに事務局(平日10:30~17:00)にお電話にてお申込みください。

お問い合わせ 東京上野ロータリークラブ事務局 Tel. 03-5814-2491

主催 ✿ 東京上野ロータリークラブ 協力 ✿ 東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学音楽学部同声会

入場  
無料  
【整理券】